

5月

# 新着図書

## 俺たちの箱根駅伝 上/下

著者名： 池井戸 潤  
出版社： 文藝春秋

古豪・明誠学院大学陸上競技部。箱根駅伝で連覇したこともある名門の名も、今は昔。本選出場を2年連続で逃したチーム、そして卒業を控えた主将・青葉隼斗にとって、10月の予選会が箱根へのラストチャンスだ。故障を克服し、渾身の走りを見せる隼斗に襲い掛かるのは、「箱根の魔物」……。隼斗は、明誠学院大学は、箱根路を走ることが出来るのか？

## 方舟を燃やす

著者名： 角田 光代  
出版社： 新潮社

オカルト、宗教、デマ、フェイクニュース、SNS。あなたは何を信じていますか？ □さけ女はいなかった。恐怖の大王は来なかった。噂はぜんぶデマだった。一方で大災害が町を破壊し、疫病が流行し、今も戦争が起き続けている。何でもいいから何かを信じないと、今日をやり過ごすことが出来ないよ——。飛馬と不三子、縁もゆかりもなかった二人の昭和平成コロナ禍を描き、「信じる」ことの意味を問いかける傑作長篇。

## 姥玉みつつ (うばたま)

著者名： 西條 奈加  
出版社： 潮出版社

江戸を舞台に、個性豊かな三人の婆たちの日常とその周りで起こる悲喜劇をコミカルに描く「女性の老後」をテーマにした長編小説。

名手宅の祐筆（文書や記録を取り扱う職）を得て静かな余生を過ごしたいお麓（ろく）は、おはぎ長屋という長屋に住んでいた。これで老後の安泰は約束されたと思い込んでいたが、その平穏な暮らしはわずか一年で終わりを迎えた。お菅（すげ）が越してくると、さらに半年後にはお修（しゅう）がやってきたのだ。

## 成瀬は信じた道をいく

著者名： 宮島 未奈  
出版社： 新潮社

唯一無二の主人公、再び。その前途、誰にも予測不能！ 成瀬の人生は、今日も誰かと交差する。「ゼゼカラ」ファンの小学生、娘の受験を見守る父、近所のクレーマー主婦、観光大使になるべく育った女子大生……。個性豊かな面々が新たに成瀬あかり史に名を刻む中、幼馴染の島崎が故郷へ帰ると、成瀬が書置きを残して失踪しており……。読み応えますますパワーアップの全5篇！

## ファラオの密室 このミステリーがすごい！

著者名： 白川 尚史  
出版社： 宝島社

紀元前1300年代後半、古代エジプト。死んでミイラにされた神官のセティは、心臓に欠けがあるため冥界の審判を受けることができない。欠けた心臓を取り戻すために地上に舞い戻ったが、期限は3日。ミイラのセティは、自分が死んだ事件の捜査を進めるなかで、やがてもうひとつの大きな謎に直面する。棺に収められた先王のミイラが、密室状態であるピラミッドの玄室から消失し、外の大神殿で発見されたというのだ。この出来事は、唯一神アテン以外の信仰を禁じた先王が葬儀を否定したことを物語るのか？

## あいにくあんたのためじゃない

著者名： 柚木 麻子  
出版社： 新潮社

老若男女に贈る、強炭酸エナドリ・最高最強エンパワメント小説集！ 過去のブログ記事が炎上中のラーメン評論家、夢を語るだけで行動には移せないフリーター、もどり悪阻とコロナ禍で孤独に苦しむ妊婦、番組の降板がささやかれている落ち目の元アイドル……いまは手詰まりに思えても、自分を取り戻した先につながる道はきっとある。この世を生き抜く勇気がむくむくと湧いてくる、全6篇。

## 成瀬は天下を取りにいく

著者名： 宮島 未奈  
出版社： 新潮社

 **本屋大賞**

「島崎、わたしはこの夏を西武に捧げようと思う」。各界から絶賛の声続々、いまだかつてない青春小説！ 中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。コロナ禍、閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るというのだが……。さらにはM-1に挑み、実験のため坊主頭にし、二百歳まで生きると堂々宣言。今日も全力で我が道を突き進む成瀬から、誰もが目を離せない！ 話題沸騰、圧巻のデビュー作。

## BLANK PAGE 空っぽを満たす旅

著者名： 内田 也哉子  
出版社： 文藝春秋

虚しさ、混乱、放心状態、ブラックホール……。 「人生の核心的登場人物を失い空っぽになった私は人と出会いたい、と切望した」 谷川俊太郎 小泉今日子 中野信子 養老孟司 鏡リュウジ 坂本龍一 桐島かれん 石内都 ヤマガキマリ 是枝裕和 窪島誠一郎 伊藤比呂美 横尾忠則 マツコ・デラックス シャルロット・ゲンズブール。独りで歩き出す背中をそっと押す、15人との〈一対一の対話〉